

# 雲仙 小地獄温泉



アートを楽しむ、  
「インスタルジ」になる。

## レトロな × 雲仙温泉

### 雲

雲仙は一九三四年、日本で最初に指定された国立公園。自然と独特な火山景観が織りなす風景は四季折々にその姿を変え、訪れる人の目を魅しませてもらえる。

雲仙市にある「雲仙ビードロ美術館」はガラスをテーマにした珍しい美術館で、温泉街に佇むクラシッくな洋館が印象的。館内には、江戸時代に「ビードロ」と呼ばれ珍重された吹きガラスや、十九世紀のボヘミアンガラスなどのアンティークガラスが並んでおり、ため息ものもの美しさ。華やかでロマンティックな西洋ランプや、まばゆいばかりに輝くクリスタルなど、見ているだけで異世界へ連れて

行ってくれる。

こちらには体験工房が併設されており、フォトフレーム、万華鏡やトンボ玉作り体験を楽しむことができる。今回チャレンジしたのは、女性に一番人気だという「フュージング」。電気炉でガラスを溶かして、ネックレスやブローチ、ヘアゴムやキーホルダーなどを作ることができる。まずは、土台となるガラスのプレートに十五種類の色の中から選び、模様入りのガラスチップをピンセットで丁寧に載せてゆく。一つ一つ模様が異なるガラスチップをバランスを見ながらプレートに載せていくのだが、ほんの少し位置をずらすだけで、色を一つ変えるだけで



全く異なる印象になるため、迷ってしまう。夢中になってデザインを完成させたら、体験はここまで。電気炉へ入れて仕上げた完成品は十日ほどで自宅に届き、まさに世界に一つのお土産になる。

雲仙の締めくくりはレトロな

温泉でのんびりと。温泉街から少し離れた場所にある「雲仙小地獄温泉」は、一七三一年に湯治場として開かれ、かつては吉田松陰も訪れたことがあるという、知る人ぞ知る名湯。一九一九年に共同浴場として開館し、一九九三年に現在の形になった。築二十九年の建物には見えないほど古めかしいが、真っ黒な木の色は温泉の成分で変色しているのだそう。

雲仙唯一の湯量を誇るこちらには源泉直下にあるため、毎日湧き出た温泉が直接注がれる。真っ白な湯気と硫黄の香りが立ち込める中、乳白色の湯に浸かって、味わい深い天井を仰げば、古き良き時代に誘われる。



「フュージング」体験で完成したブローチとヘアゴム。



雲仙ビードロ美術館

# ガラス作り体験